

工事広報

令和6～7年度 八幡平山系赤倉沢第1砂防堰堤工事

日中は汗ばむ陽気となり吹く風もはや夏めいてまいりましたが夜には冷えるこの季節、体調管理の難しい時期となりましたが、皆様におかれましてはお変わりありませんでしょうか？体調を崩されませんようお気をつけください。

さて、赤倉沢第1砂防堰堤工事ではUAV（ドローン）測量とGNSSローバーという機器を用いてローカライゼーションを実施しました。ローカライゼーションとは、GNSSにより得られた衛星座標を、現場の平面直角座標へ置き換えるための作業です。高精度なICT施工を実現するためにはローカライゼーションにより得られる座標変換値が必要不可欠です。GNSS測位にはいくつか制限や注意点はありますが、ICT施工、ローカライゼーションの活用により、丁張りなしでICT建機による施工が可能となり、作業の効率化や人員不足の解消が期待できます。

現在は、転流工として大型土のうによる締め切りとコルゲートパイプ（φ1,200）を3列並べ、施工する箇所に河川の水が流れ込まないようにするための作業を行っています。6月の作業は引き続き砂防土工、法面工、護床・根固め工の施工を予定しており、コンクリート打設時にはコンクリートミキサー等の大型車両が生活道路である県道194号を走行することになります。皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

工事に関するお問い合わせは下記の連絡先でお受け致します。

丁張りとは？・・・建設現場において施工の基準となるもので、木杭や板等を用いて構造物の位置や高さを決めます。通常丁張を設置するのには2～3人で作業を行います。

ICT施工とは？・・・建設現場においてICT（情報通信技術）を活用し、施工の効率化や精度向上を図る手法のことです。建設生産プロセス全体において、ICTを活用して測量・設計・施工・管理を行います。

UAV測量

ドローン



ローカライゼーション

座標変換



ICT建機

コントロールボックス

ICT施工イメージ写真



転流工

コルゲートパイプ設置

ボルト固定



埋め戻し



現在、コルゲートパイプの周りを土砂で埋め戻しています。



山菜特集

山菜はスローフードとして見直され、貴重な食料として親しまれています。

今まさに森と溪流は山菜の宝庫となり、本格的に山菜採りのシーズンに入りました。山は危険が沢山ありますので、入念に準備をして出掛けましょう。

シドケ(モミジガサ)

山菜の王様!

●見分け方

山地の谷沿いの急斜面に生える。葉が開く前は傘のように垂れ、開くと葉の形がモミジに似ている。最も重宝されている山菜!!

●採り方

茎が太いのを選び、手で自然に折れるところから折るのがコツ!

●料理の仕方

茹でておひたし、ごま和え。天ぷらなど。上手な茹で方は、沸騰した鍋に塩を1つまみ入れ、根元から山菜を入れて再度沸騰したらOK!茹ですぎると風味を損なう。

ウド



●見分け方

崖の斜面下、雪崩で堆積した崩落土に生える。雪崩崩落地周辺で昨年枯れたウドの残骸を見つけること。

●採り方

土を丁寧に掘り、根ざわをナイフで切り取る。但し、土を元に戻すことを忘れずに!

●料理の仕方

葉の部分は天ぷら。白い根元は皮をむき酢水にさらし、酢味噌。他、皮をむき油炒め、味噌汁の具。茹でてごま和え、味噌和え。

ヤマワサビ

清らかな水のシンボル!

●見分け方

きれいな溪流沿いに大きな株となって生える。主に湿地のサウグルミ林に群生する。旬の頃は白い花を咲かせ、葉はほぼ円形で柄が長い。

●採り方

太い茎を選び、間引くように手で採取するのがコツ!

●料理の仕方

全体をよく洗い細かく刻んで万能つゆで一晩漬ける。味噌汁の具、種類の美味。また太い根の部分はよく洗いを削り取ってからすりおろして薬味。他、茹でておひたし、和え物。(春巻に刻んだワサビを入れ、熱湯を注いで冷まし、酢で和え、辛味がアップ!)

連絡先

受注者



万六建設株式会社

現場代理人 金谷 晃一

監理技術者 浅沼 優司

TEL 0187-43-1554

発注者



東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

秋田駒ヶ岳山系砂防出張所

TEL 0187-46-2681